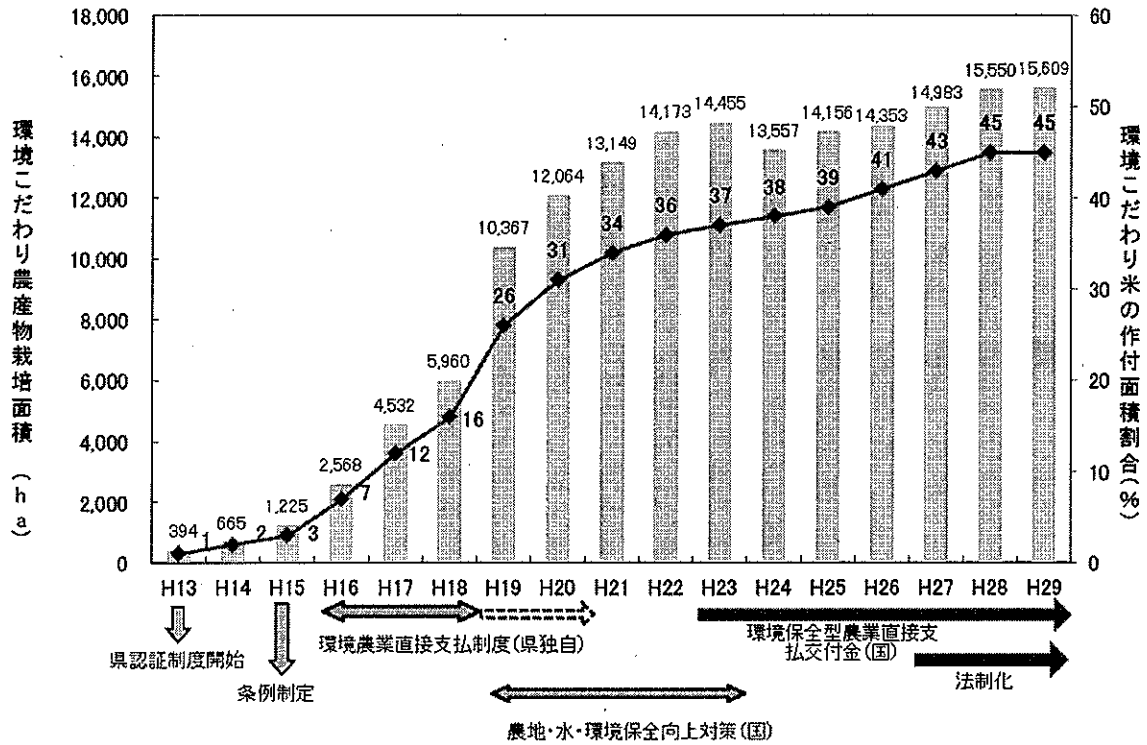
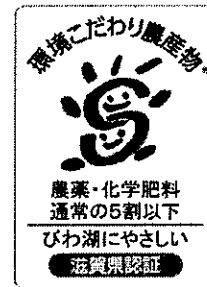


環境こだわり農産物栽培面積の推移



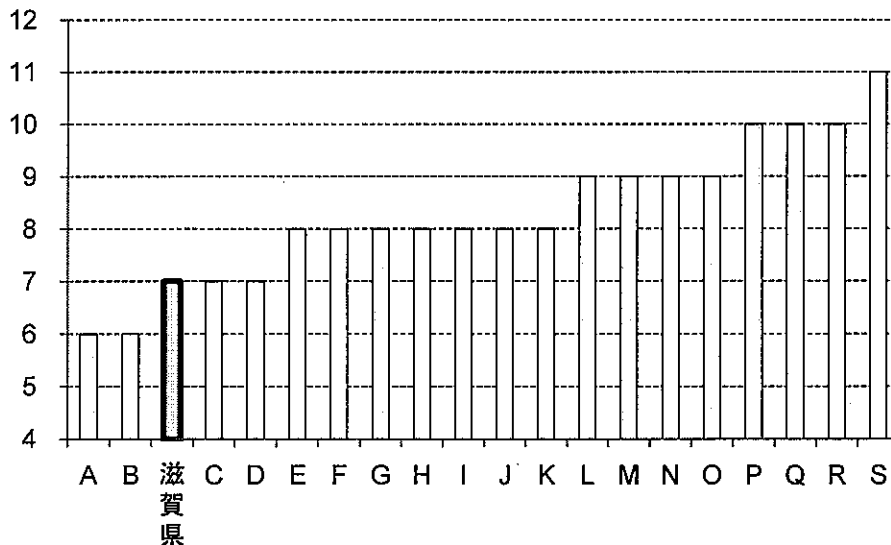
環境こだわり農産物の栽培基準

化学合成農薬、化学肥料の使用量を慣行の5割以下  
+  
環境配慮技術(琵琶湖・周辺環境への負荷削減等)



●通常栽培の5割減の化学合成農薬成分数(水稻)※

※特別栽培農産物表示ガイドラインの慣行基準による



[2016年度水稻収穫量 上位20位までの都道府県のHPを参考に滋賀県が作成]

環境こだわり農産物 栽培面積 (平成29年度)

平成30年2月27日確定版

1 県合計 (ha)

区分	面積		
	環境直払	県認証	計
水稲	13,228.6	385.5	13,614.1
麦	12.0	0.0	12.0
大豆	1,256.8	38.3	1,295.1
野菜	105.1	49.1	154.1
果樹	59.0	28.4	87.5
茶	10.2	7.8	18.1
その他	418.0	9.7	427.7
計	15,089.8	518.7	15,608.5

注)

1. 「面積」：生産計画認定面積
2. 「環境直払」：環境保全型農業直接支払交付金
3. 「県認証」：環境こだわり農産物認証制度 ※認証制度のみを申請
4. 「その他」：小豆、そば、花き、飼料作物
5. 四捨五入の誤差で合計と内訳が一致しない場合がある。

2 地区別面積 (ha)

区分	大津・南郡	甲賀	東近江	湖東	湖北	高島	計
水稲	1,439.4	2,155.4	4,551.6	1,541.9	2,769.5	1,156.4	13,614.1
麦	9.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	12.0
大豆	363.8	207.0	336.0	181.9	191.5	14.9	1,295.1
野菜	48.1	15.0	50.2	19.3	13.1	8.3	154.1
果樹	5.6	2.0	22.6	1.4	14.5	41.3	87.5
茶	0.7	12.1	3.3	0.0	0.1	1.8	18.1
その他	3.2	55.3	104.4	95.0	129.9	39.9	427.7
計	1,869.9	2,446.8	5,071.0	1,839.5	3,118.6	1,262.6	15,608.5

3 野菜、果樹の作物別の面積 (ha)

野菜				果樹			
作物名	面積	作物名	面積	作物名	面積	作物名	面積
だいこん	3.0	ごまつな	31.9	なす	0.9	ぶどう	28.3
大かぶ	13.8	黄だいこん	1.0	トマト	1.4	なし	2.3
ごかぶ	0.0	さんどうさい	0.4	ミニトマト	3.8	もも	1.3
赤かぶ	0.5	チンゲンサイ	0.0	ピーマン	0.0	うめ	1.6
ひのな	0.1	ほうれんそう	6.8	とうがらし類	0.5	かき	10.8
たんじん	11.1	しゅんぎく	0.4	きゅうり	0.6	くり	35.7
さといも	1.2	レタス	2.6	かぼちゃ	6.3	いちじく	5.0
さつまいも	1.7	ねぎ	3.2	メロン	0.9	ベリー類	1.7
じゃがいも	1.8	たまねぎ	6.2	すいか	1.6	ゆず	0.0
やまのいも	0.4	アスパラガス	0.6	いちご	0.9	さくらんぼ	0.9
ごぼう	0.4	みつば	0.0	スイートコーン	1.0	パッションフルーツ	0.0
ヤーコン	0.0	ルッコラ	0.0	さやいんげん	0.0		
はくさい	1.9	らど	0.3	実えんどう	0.2		
キャベツ	12.1	たらの芽	1.8	えだまめ	0.1		
ブロッコリー	24.7	ハーブ	0.0	うり	0.1		
なばな	0.7	ふき	0.0	かんぴょう	0.6		
みずな	3.8	みょうが	0.0	まくわうり	1.1		
しろな	0.0	よもぎ	0.0				
わさびな	0.0	にんにく	1.5				
みぶな	0.0	しそ	0.2				
				野菜 計	154.1	果樹 計	87.5

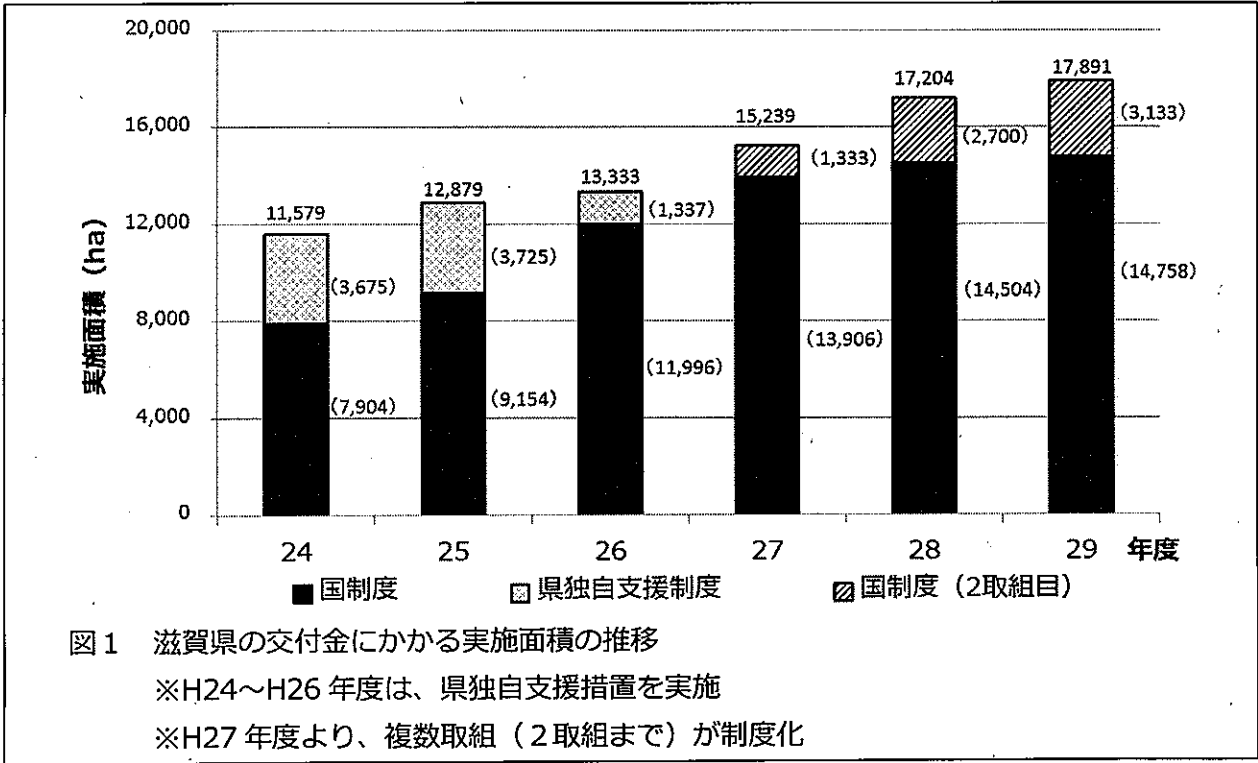
4 品目別環境こだわり農産物の栽培面積の推移 (H13~H29) (ha)

年度	面積							
	計	水稲	麦	大豆	野菜	果樹	茶	その他
H13	393.7	383.5	0.0	0.9	9.3	0.0	0.0	0.0
H14	664.7	552.0	0.1	19.2	78.6	13.5	1.2	0.0
H15	1,224.8	970.2	0.2	66.4	157.2	24.0	6.8	0.0
H16	2,568.1	2,281.8	0.2	14.1	195.3	54.8	19.8	2.0
H17	4,532.0	4,154.7	0.2	16.8	252.3	69.3	23.3	15.4
H18	5,960.2	5,512.3	0.0	27.4	309.0	70.8	26.8	13.8
H19	10,367.3	8,893.1	9.8	830.4	353.8	81.4	25.5	173.3
H20	12,063.7	10,117.0	27.8	1,237.0	358.7	103.9	29.7	189.8
H21	13,148.8	10,961.4	25.9	1,533.2	289.7	103.3	19.7	215.6
H22	14,172.7	11,789.8	28.5	1,669.1	306.2	105.6	17.5	255.9
H23	14,455.3	12,015.5	25.2	1,676.9	307.4	105.5	14.9	309.8
H24	13,556.7	12,135.3	20.0	724.8	160.3	99.0	15.4	402.0
H25	14,155.9	12,598.8	14.8	864.1	190.3	98.2	13.1	376.6
H26	14,353.3	12,735.8	0.1	989.4	152.5	88.6	11.9	375.0
H27	14,982.7	13,085.1	6.4	1,195.7	194.0	87.9	10.9	402.6
H28	15,550.1	13,583.6	9.9	1,289.3	158.7	86.3	13.3	409.0
H29	15,608.5	13,614.1	12.0	1,295.1	154.1	87.5	18.1	427.7

# 環境保全型農業直接支払交付金の実施状況

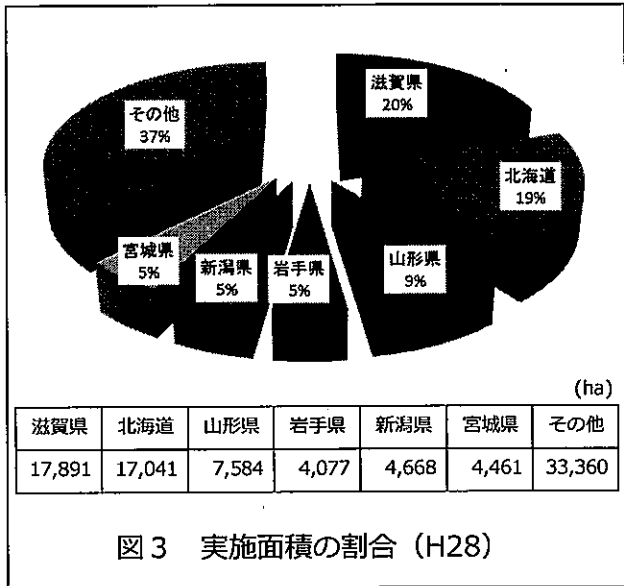
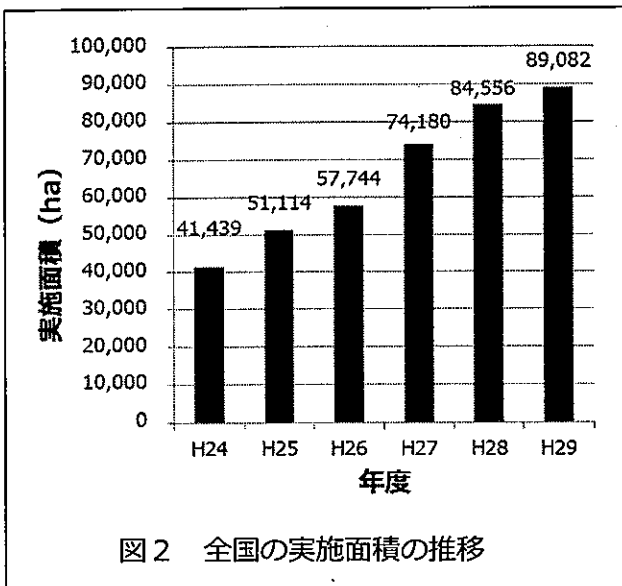
## 1. 実施面積の推移

滋賀県での本交付金の実施面積は年々増加しており、平成 29 年度では複数取組の面積も増加し、約 17,891ha となった(図 1)。



### 【参考】

本交付金の全国での実施面積は平成 29 年度で 89,082ha(図 2)で、そのうち滋賀県は約 2 割を占め(図 3)、6 年連続で日本一となっている。



## 2. 支援対象取組別の面積

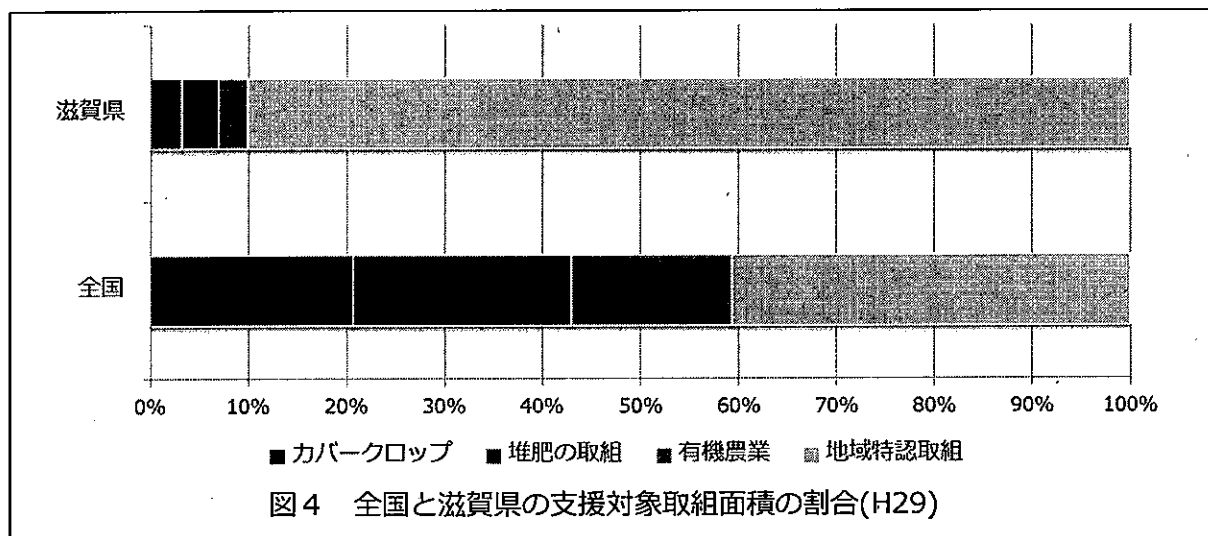
取組面積のうち、⑧「IPM の実践、畦畔の人手除草および長期中干し」、⑪「緩効性肥料の利用および長期中干し」および⑭「水田雑草管理」の取組で約8割(表1)を占めている。また、滋賀県は地域特認取組が取組全体の9割を占めており(図4)、全国と比較しても高い割合となっている。

表1 滋賀県の支援対象取組別の実施面積(H29)

単位：a

		環境保全効果	第1取組	第2取組	計	
全国共通	①	カバークロップ	温	47,625	9,453	57,078
	⑤	有機農業(下記以外)	温・生	29,777	2,546	32,323
		有機農業(雑穀等)	温・生	21,034	1,699	22,733
	⑥	堆肥の投入	温	51,256	14,476	65,732
地域特認取組	②	リビングマルチ	温	7,559	103	7,662
	③	草生栽培	温	22	0	22
	④	冬期湛水	生	12,420	6,182	18,602
	⑦	炭の投入	温	34,687	6,433	41,120
	⑧	IPM+畦畔人手除草+長期中干し	温・生	521,442	61,334	582,776
	⑨	魚種等保全水田	生	4,428	2,529	6,957
	⑩	バンカープランツ	生	17	0	17
	⑪	緩効性肥料+長期中干し	温	613,278	31,291	644,569
	⑫	緩効性肥料+省耕起(大豆)	温	33,800	960	34,760
		緩効性肥料+省耕起(露地野菜)	温	101	0	101
	⑬	水田ピオトープ	生	2,029	9,023	11,052
	⑭	水田雑草管理	生	16,397	158,181	174,578
	⑮	IPM(大豆・露地野菜)	生	65,286	8,500	73,786
IPM(施設野菜・果樹・茶)		生	10,684	619	11,303	
⑯	在来草種の草生	生	3,881	0	3,881	
⑰	緩効性肥料+深耕(茶)	温	63	0	63	
計			1,475,786	313,329	1,789,115	

※環境保全効果は、温：温暖化防止、生：生物多様性保全への効果を示す



## 滋賀県環境こだわり農業推進基本計画の進捗状況と評価

進捗状況						
H26 (計画時点)	H28	H29	H30	H31	H32	
<b>【環境こだわり米の作付面積割合】</b>						
実績	41%	45%	45%			50%以上 (目標)
<p>(施策の評価・課題等)</p> <p>○全量が環境こだわり米である「みずかがみ」の生産拡大は進んだものの、既存の品種の作付け面積が少しずつ減少したことにより全体では、前年より約30haの増加に留まった。</p> <p>○環境保全型農業直接支払交付金の予算額が不足していることから、農業者が安心して環境こだわり農業に取り組めるように、国が必要額を措置されるよう強く要請するなど引き続き交付金による支援を行う。</p>						
<b>【流域単位での農業排水対策の取組面積(毎年)】</b>						
実績	16,159ha	17,276ha	17,593ha			17,860ha (目標)
<p>(施策の評価・課題等)</p> <p>○アセットマネジメントによる節水型、循環型水利用対策の推進として、用水需要に即したきめ細かな配水が可能となる水管理システムを導入した(277ha)。</p> <p>○また、世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策において、水質保全池を適正管理する取組み面積(34ha)や、魚のゆりかご水田プロジェクトの取組面積(6ha)が増加した。</p> <p>○主要河川の透視度や琵琶湖の各水質指標は長期的には改善されており、引き続き対策を進める。</p>						
<b>【環境に配慮した水稻品種の育成】</b>						
実績	0品種	0品種	0品種			1品種 (目標)
<p>(施策の評価・課題等)</p> <p>○平成29年度：滋賀78号(いもち病のほ場抵抗性を強化した「秋の詩」系統)については、奨励品種決定調査本調査および現地調査に供試して、有望性を評価した。また、「みずかがみ」を強化した候補系統については、所内で系統選抜試験を実施した。</p> <p>○平成30年産米で実需者による食味等の評価を実施予定。</p>						
<b>【魚のゆりかご水田など「豊かな生きものを育む水田」の取組組織数(累計)】</b>						
実績	29組織	37組織	39組織			60組織 (目標)
<p>(施策の評価・課題等)</p> <p>○従来の取組をとりやめた組織が9組織あったものの、引き続き「豊かな生きものを育む水田」の取組について啓発を行ったことにより、新規に取組を開始した、もしくは取組を再開したり活動内容を変更して活動を継続したりした組織が11組織あり、結果として2組織の拡大となった。</p> <p>○田園振興課と農産普及課が連携して「魚のゆりかご水田」に取り組む組織に対して支援、指導を行ったことにより、新たに「魚のゆりかご水田米」の認証取得に取り組む組織が3組織増え、認証面積が15ha増えた。</p> <p>○中流域での取組拡大に向けて、さらなる普及啓発が必要である。</p>						
<b>【環境こだわり農産物コーナーを有する店舗数(累計)】</b>						
実績	1店舗	4店舗	7店舗			10店舗 (目標)
<p>(施策の評価・課題等)</p> <p>○環境こだわり農産物販売コーナー化を支援し、県内3店舗の直売所で、新たにコーナーの設置ができた。</p> <p>○今後も、直売所を中心にコーナー設置店舗を拡大していくとともに、品揃えの充実を図る必要がある。</p>						

進捗状況					
H26 (計画時点)	H28	H29	H30	H31	H32

【環境こだわり農産物を利用した加工食品の数(累計)】					
実績	61品	64品	69品		85品 (目標)
(施策の評価・課題等) ○新たにあられやお酢等でマークを表示されるようになった。 ○既存の仕組みの中で、引き続き加工食品での利用、販売を促進する必要がある。					

【環境こだわり農産物の認知度】					
実績	43.5%	47.1%	未計測		50% (目標)
(施策の評価・課題等) ○生産者の琵琶湖に対する思いや苦勞されている物語と、環境こだわり農産物を結びつける新たなPR資材として「ふうどぶっく滋賀」やタブロイド誌を作成し、「ここ滋賀」でのPR等に使用した。 ○京阪神を中心に東海・関東圏を含め、400店舗以上で環境こだわり米のキャンペーンを実施し、知事コメント入りの新聞広告を1回掲載、懸賞キャンペーンは過去最高の延べ12,112通の応募があった。 ○生産者の琵琶湖に対する思いや苦勞と環境こだわり農産物を結びつけ、発信し、さらに認知度向上のため継続的かつ効果的なPRを実施する必要がある。					

【給食に環境こだわり米を利用する市町数】					
実績	11市町	17市町	17市町		19市町 (目標)
(施策の評価・課題等) ○地産地消や環境学習の観点から環境こだわり栽培「みずかがみ」を中心に利用が拡大した。 ○未利用の地域の内、1地域は、コスト面で関係団体間(JA、給食センター、市)の意識統一が難しく、導入困難な状況。もう1地域は平成30年度9月より使用予定。					

※継続把握指標(目標値は持たないが継続して把握する必要がある指標)

【環境こだわり農産物の栽培面積】					
実績	14,353ha	15,550ha	15,608ha		

【化学合成農薬使用量の削減割合(平成12年度対比)】					
実績	40.5%	37.7%	37.2%		

【主要河川の透視度(代かき・田植え時期)】					
実績	42.1cm	36.7cm	42.0cm		

【環境こだわり農産物認証マークを表示して出荷販売する生産組織数】					
実績	112組織	109組織	97組織		

【環境こだわり農産物の継続購入率】					
実績	32.1%	未計測	未計測		

環境こだわり農業推進基本計画の改定にかかる全体スケジュール（予定）

年度	月	庁内検討等	環境こだわり農業審議会等	県議会
平成29年度		方向性検討	7月 スケジュール等 12月 方向性検討 3月 中間論点整理	3月 常任委員会 中間論点整理報告
平成30年度	4	↑ 骨子検討		
	5			
	6			
	7	↓		
	8		審議会(骨子検討)	常任委(骨子案説明)
	9	↑ 原案検討		
	10		審議会(原案検討)	
	11	↓		常任委(原案説明)
	12		県民施策コメント	県民政策コメント
	1	↑ 最終案 検討	審議会(最終案検討)	
	2			常任委(最終案説明)
	3	策定・周知		常任委(最終案報告)